

No.154
2023/11/21



OPEN オープンユニオン 岐阜大学職員組合ニュース UNION



岐阜大学職員組合発行

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
Tel. 内線 9552 Fax 058-230-1118
E-mail: kumiai@gifu-u.ac.jp
HomePage: 岐阜大学職員組合 (検索)

第40回定期大会のご報告

先日10月4日(水)に第40回定期大会が開催されました。対面参加にオンライン参加も加え、多くの組合員の皆さんにご参加いただき、無事に第40期役員の皆さんにバトンを渡すことができました。組合員の皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

定期大会では、第39期活動報告、第39期決算報告、第40期活動方針案、第40期予算案のそれぞれの議案について審議が行われました。ここ数年、新型コロナの影響により組合の活動も制限を余儀なくされ、特に組合員同士の交流の場や学びの場を設定することが難しい状況が続いておりました。しかし、第39期の活動期間中に、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に引き下げられ、コロナ以前に実施されていたいくつかの活動を再開することができました。「転出・退職される皆様を囲む送別会」や「サマー・パーティー」では、久しぶりに飲食を伴って親交を深めることができ、改めて組合員同士の交流が可能となったことへの喜びと共に、働きやすい職場環境を作り上げる上で組合員同士の交流が組合活動を支える基盤の一つであることを実感いたしました。第40期では、職域や世代を超えた組合員の親睦と相互交流を図り、組合員相互が交流できる場づくりを行うことが活動方針の一つとして示されました。コロナ禍以前には、「若手忘年会」「新春のつどい」「新歓の諸行事」なども行われていたことを考えると、これらの交流行事の再開が期待されます。

第39期の活動では、名古屋大学職組との連携を強化し、定期的に情報交換を行い、機構における両大学の職場の現状を報告し合い、共通の課題を明らかにし、共同で東海国立大学機構松尾機構長との懇談を定期的実施したことが報告されました。運営費交付金の削減に加えて、物価上昇や電気料金の高騰が各部局や大学全体の財政面に大きな影響を与えていることなど、予算に関わる事項や機構の将来的な展望について職場の現状や職員の意見を伝え、機構の運営方針などについての話し合いが行われま



した。組合の交渉相手は岐阜大学学長であることに変更はありませんが、今後も名大職組との連携、協力を継続してことが確認されました。

最後に、第 40 期中央役員が紹介され、新中央執行委員長の天池洋介さんから第 40 期の活動に向けての意気込みが語られました。

第 39 期中央執行委員長 巽 徹

第 40 期中央役員あいさつ

◆ 中央執行委員長 天池 洋介（地域科学部支部）

この度、中央執行委員長にご選任いただきました、天池です。私は岐阜大学の他にも県内外の大学に勤務する、非常勤講師です。非常勤講師が国立大学の労働組合のトップに就任することは、非常に珍しいことと思いますが、これは社会的公正を重んじ非常勤講師を大切に、私たちの岐阜大学ならではのことでないかと思えます。このような労使ともに先進的な気風のある岐阜大学を守り、発展させるため、みなさんと力を合わせながら尽力できたらと思えます。

40 期も、岐阜大学との団体交渉、東海国立大学機構との懇談など、様々な課題を抱えています。コロナウィルスによる制限もおおよそ撤廃されたことから、組合活動の本格再開を進めていけたらと思えます。多忙な業務の中でも、組合員さん一人ひとりが元気になれるような、そして周りの人々も楽しそうだから組合入ってもいいかなと思えるような、そんな前向きな組合活動をできたらと思えます。

「組合の意義は分かるんだけど、小難しいことはちょっと…」という方にこそ、この 40 期は活躍の場をご用意できるように、様々な企画を進めていくつもりです。もちろん、「こんなことしたい」という提案も大歓迎です。苦しいことやしんどいことの多い今だからこそ、組合活動を発信源にして、楽しく働きがいのある岐阜大学を一緒に作っていきましょう。

◆ 中央書記長 椎名 貴彦（応用生物科学部支部）

第 40 期中央書記長に選出されました椎名と申します。応用生物科学部支部です。次回定期大会までの 1 年間、どうぞよろしくお願いいたします。

ついこの間（第 38 期）で中央執行委員長を務めました。早くも中央役員に「復帰」してしまいました。こう続きますと、あまり新鮮味がありませんが（本人にも周囲にも）、経験を活かしてお役目を果たそうと思えます。抱負としては、コロナ禍明けということで、レクリエーション活動の完全復活の後押しをできたらと思っております。レク活動を通じて、組合員同士が交流し、組合活動が身近になり、「忙しいけど、役員を引き受けてもいいかな」と思ってくれる組合員が増えてくれるとうれしいです。

◆ 中央副委員長・書記次長 上野 友也（教育学部支部）

中央執行副委員長と書記次長を拝命致しました教育学部支部の上野友也（かみのともや）と申します。教育学部は支部では書記長などを努めて参りましたが、これからは中央役員として教職員の労働環境の改善に努めて参りたいと存じます。とくに、組合員からの意見や要望を収集し、それを反映させる場を設けることによって組合員が主体的に活動に参加できるように取り組みたいと思います。また、組合員に対する労働環境などの情報提供を通じて、組合員がより安心して働ける環境を整備したいと思います。組合員同士が交流し、情報や意見を交換し、組合員同士の連帯感を強めて活発な活動ができることを期待致します。

◆ 中央執行委員 橋本 智裕（地域科学部支部）

第40期の中央執行委員になりました地域科学部支部の橋本智裕と申します。支部の委員は何度か務めたことがありますが、中央については今回が初めてです。天池委員長や椎名書記長をはじめ、他の役員の方々の足を引っ張らないように取り組んで参ります。ようやくコロナ禍は収束してきた一方で、戦争が起こるなど暗い話題はなくなりませんが、大学は未来を担う若者が育っていく所でもありますので、いろいろな意味で「前向きな活動の場」になっていくと良いなと思っております。不慣れなため、組合員の皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、一年間どうぞよろしくお願い致します。

◆ 中央執行委員 梶原 謙次郎（工学部支部）

第40期中央執行委員になりました、工学部支部の梶原です。技術職員として岐阜大学に赴任して組合員になってから二十数年が立ちますが、初めて執行委員の役を仰せつかることになりました。不慣れな活動に戸惑いながらも、労働条件や職場の安全衛生の改善について微力ながら貢献できればと思います。一年間よろしくお願い致します。

◆ 中央執行委員 福岡 大輔（教育学部支部）

教育学部支部中執委員の福岡と申します。エネルギー価格高騰による研究費削減や、コロナ禍後の状況変化、法人統合後の変化など、目まぐるしく変わる職場環境の中で、組合の中央執行委員として着任し、その責任を感じています。中央執行委員として、また、組合の一員として職場環境をよりよくし、働きやすくて安心できる職場となるように、微力ながら取り組んで参りたいと思っています。1年間どうぞよろしくお願い致します。

◆ 中央執行委員 酒向 隆司（応用生物科学部支部）

今期、中央執行委員を務めさせていただきます応用生物科学部支部の酒向です。私は職域としては技術職員に当たります。大学組織は教員・事務職員・技術職員の3者が協力して運営されていくべきものだと考えておりますが、技術職員は事務職員に比べて、待遇に大きな差があるのが現状です。

我々は全員で30名程度の小さな組織であり、なかなか大きな声を上げることができません。組合員の皆様にもご協力いただき、待遇改善を目指していきたいと思います。一年間頑張って活動しますので、どうぞよろしくお願いいたします。



40期中央役員

— 国立大学法人法改正案反対声明を发出了しました —

現在国会で審議中の「国立大学法人法の一部を改正する法律案」に対する懸念、反対の意を示すために、「中央執行委員会声明 (<http://www.gifunion.sakura.ne.jp>)」を发出了しました。

法案に規定されている「運営方針会議」は、国立大学法人の自立性の問題、今後の高等教育や研究への負の影響の懸念があり、さらに、その設置大学法人として、東海国立大学機構の名が挙がっているためです。

また、京大、名大、阪大、東大の職組との共同声明も发出了されました (<https://www.kyodai-union.gr.jp/2023/11/10/seimei-4/>)。

岐阜大学職員組合第40期中央執行委員会